

『ESCO事業って何なの？』

来年度に**ESCO事業**で空調や照明設備を更新するよ。

そもそもESCO事業って何なの？
空調や照明の普通に更新するのとは違うの？

普通に更新するよりも**お得**に、**地球に優しい**設備に更新できるよ。
来年度は、市役所本庁、市民総合会館(本館、別館)、保健センター、
生涯学習センターの5施設の設備を更新する予定だよ。



ESCO事業

ESCO事業とは、高効率の**省エネ設備(LED照明等)の導入費用**の一部を省エネ設備導入によって見込まれる**光熱水費の削減額で賄う**事業のことです。

ESCO事業の 特色

省エネ効果(=藤井寺市の利益)が、ESCO事業者によって保証されます。

パフォーマンス契約

設備の運用改善と省エネ設備の導入の二つの面から省エネ効果を最大限引き出します。

省エネ効果

計画から導入機器の管理、省エネ効果の計測・検証まで、契約期間はESCO事業者が行います。

包括的サービス

ESCOサービス料を契約期間(15年間)で分割して支払うことで、費用の平準化が可能になります。

シェアード・セイビングス契約

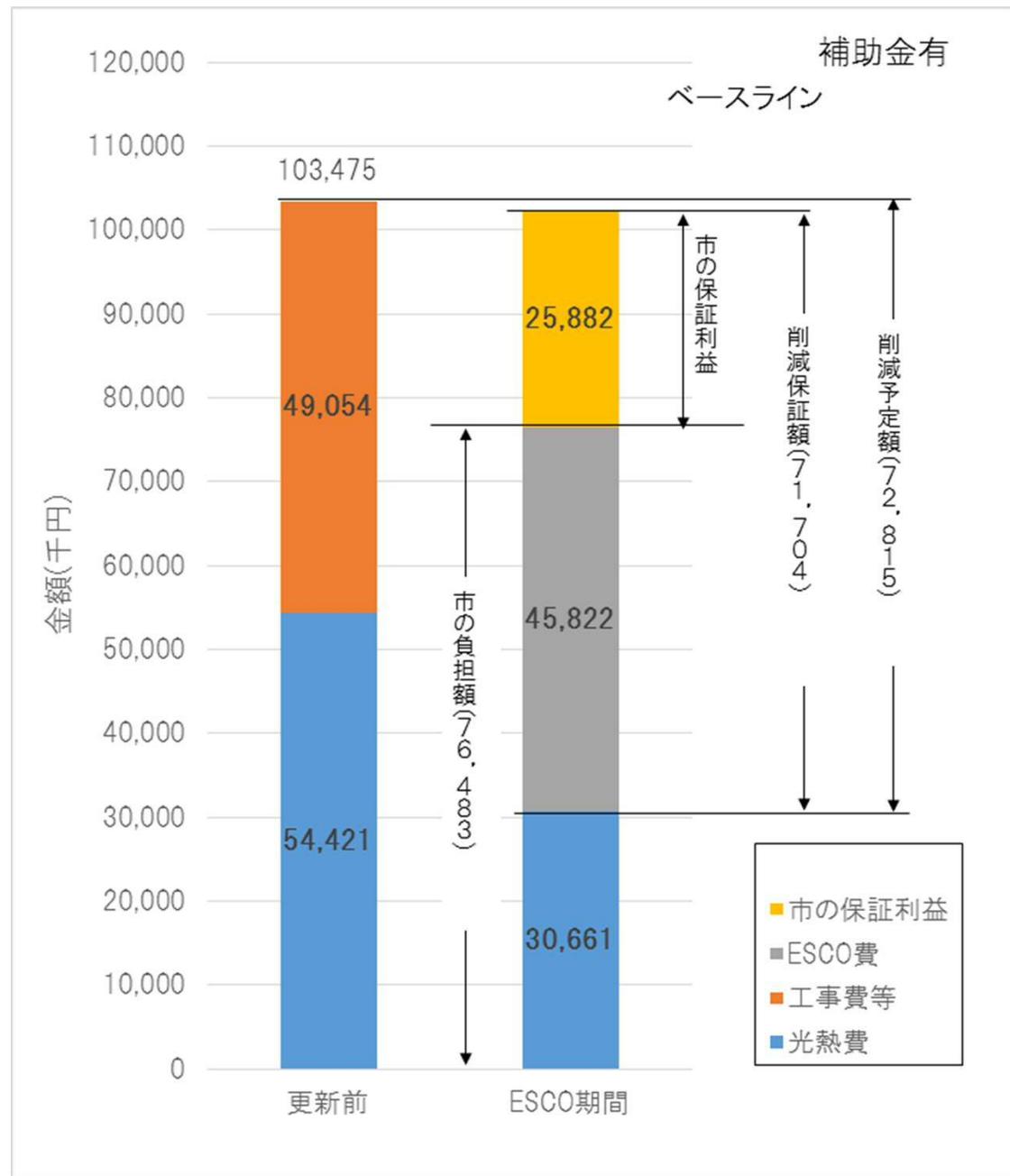
※改修工事費用を事業の初年度に一括で支払うギランティード・セイビングス契約と呼ばれるものもあります。



すごいうまい話に聞こえるけど、本当に安くなるの？

ESCO事業では、業者選定の提案時に更新額に対しての削減保証額の提案も求められます(パフォーマンス契約)。もし実際の削減額が保証額に達しない場合その差額がESCOサービス料から減額され、市の実質利益は変わりません。右のグラフは、藤井寺市ESCO事業の受託候補者の提案内容になります。

グラフの黄色部分の年額25,882千円は絶対に安くなるんだね。





実際にどんな設備に変わるの？

	市庁舎	会館本館	会館別館	生涯学習センター	保健センター
LED照明更新	4,195台	1,201台	352台	1,467台	467台
熱源・空調更新 (ALL電化)	熱源システム細分化 +個別空調更新	熱源システム細分化 +個別空調更新	全館個別空調更新	熱源システム更新	—
受電設備 (トランス更新)	既設9系統更新 +2系統増設(空調用)	既設7系統更新 +2系統増設(空調用)	既設3系統更新 +1系統増設(空調用)	既設4系統更新 +1系統増設(空調用)	既設3系統更新
BEMS装置導入	見える化+省エネ制御	見える化+省エネ制御	見える化+省エネ制御	見える化+省エネ制御	見える化

※BEMSとは、Building Energy Management Systemの略称で、ビル用エネルギー管理システムの事です。
リアルタイムでエネルギー使用量を確認でき、エネルギーを使い過ぎの部分は自動制御し、省エネルギーを実現させます。

窓ガラス遮熱フィルム貼付

紫外線吸収 99%以上

近赤外線カット 90%以上 ※2

可視光線透過
NANO90S 88%
NANO80S 81%

電波透過
スマートフォンやGPS
に影響を与えません。

マルチレイヤー NANOシリーズ

※2：NANO40S/70S/80S

※市役所南面に貼付予定

カメラ付きLED照明システム

ラクラク設置で
カンタン録画！

2019年6月
発売予定

LED照明と映像録画カメラを融合させた新しいコンセプト商品です。
照明一体だから、すっきり見渡せる上方からのビューポジションを活かし、「もしも」のときの心強い味方となる映像記録をさまざまな空間でお手軽に導入できます。

LED照明と録画カメラの融合

Wi-Fi接続でスマホ確認

SD自動録画カメラ

LED無線制御式照明システム

リニューアル前(ON/OFFのみ)

無線T/Piecsシステムにて施工

照明を満光にして省エネしたいが……

従来の調光システムにて施工

照明器具をリニューアルするだけで電線はそのままでOK ※2

タブレット操作

※2: 別途、無線LEDコントローラーの設置が必要になります。

業者選定時に受けた独自提案の一例だよ。

提案段階だから、まだまだ変わる可能性はあるけどね。





設備を全部導入したら、どれくらい省エネ効果はあるの？

藤井寺市の60%の面積に相当するブナの木が
年間で吸収する二酸化炭素量と同じくらいなんだって。



簡単には想像できない量だね。

今回のESCO事業による省エネ設備更新で、対象施設の温室効果ガスの排出量は
事業前と比べて平均して**約45.9%**、合計で**約685t-CO₂/年**の削減が可能となっています。
藤井寺市では、2013年度の温室効果ガス排出量(6,085t-CO₂/年)に対して、2030年度までに
40%削減を目標としており、今回のESCO事業化で**約11.2%**の削減が可能です。

今後のスケジュール

令和2年秋頃 : 活用予定の補助金の採択結果発表。

令和2年秋～ : 工事開始予定。基本的に閉館日や夜間に工事を行います。

令和3年4月～ : ESCOサービススタート。

令和18年3月 : ESCO事業終了。導入機器は無償譲渡されます。

環境省または経産省の
省エネ推進の補助金の
採択を見込んでるよ。

採択結果次第で、
事業が縮小する
可能性もあるよ。

